様式 2

輸出事業計画

※申請者名:丸トポートリー食品(株)コンソーシアム、品目:鶏肉

1. 輸出における現状と課題

<現状>

- 1 丸トポートリー食品(株)コンソーシアム
- (1) 愛知県内の生産者、食鳥処理業者(丸トポートリー食品(株))、輸出事業者が組織
- (2) 丸トポートリー食品㈱のブランドである「錦爽(きんそう)名古屋コーチン」及び「錦爽どり」を、2017年から香港に輸出
- (3) コンソーシアムの輸出ターゲット国は、香港、ベトナム、カンボジアの3か国
- 2 ターゲット国のニーズ
- (1) 香港:スーパーマーケット等小売業態向けの商品開発(個食パック)、鮮度
- (2) ベトナム・カンボジア:ローカルは中抜き、高級レストランは正肉

<課題>

- 1 輸出を拡大するための体制整備(人材育成)
- 2 顧客ニーズに合わせた商品開発(小売業態向け商品)
- 3 鮮度を確保した商品開発、流通体制の整備(冷蔵設備の整備)

輸出事業計画の取組内容

- 1 加工処理施設
- (1) 商品生産量の増加や個食パックに対応した機械導入
- 2 流通など
- (1) 現地の販売活動に対応できる体制整備及び人材育成
- (2) 鮮度を確保した流通体制の整備
- (3) 安定的な商業流通が可能となる現地代理店の確保

輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCA実施体制図



計画

- ・現地でのプロモーション
- ・販売量に合わせた生産・輸出販売計画
- ・機械導入の検討





- ・達成状況により計画の見直し
- ・商品の改善・品質向上
- 関係者の研修・技術指導

実行



- ・既輸出国、既購買者への販売拡大
- ・新規輸出国(カンボジア、ベトナム)への販売

チェック



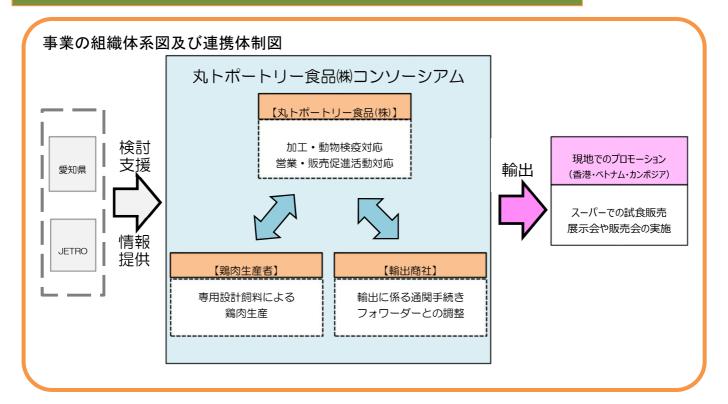
- 計画の達成状況の確認
- ・市場の情勢、輸出国、購買者のニーズの確認 (消費者、販売店、商社等)
- ・JETROを活用した情報収集

様式2

輸出事業計画

※申請者名:丸トポートリー食品(株)コンソーシアム、品目:鶏肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

